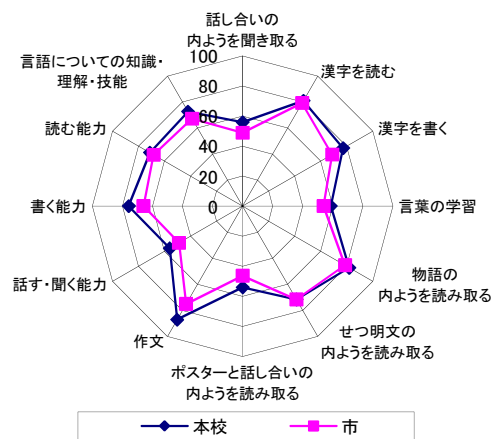


宇都宮市立緑が丘小学校 第4 学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	56.0	48.8
	漢字を読む	81.0	79.3
	漢字を書く	77.2	68.8
	言葉の学習	58.7	53.8
	物語の内ようを読み取る	81.9	78.7
	せつ明文の内ようを読み取る	71.7	71.6
	ポスターと話し合いの内ようを読み取る	54.1	46.3
	作文	87.1	75.1
観点別	話す・聞く能力	56.0	48.8
	書く能力	75.9	65.9
	読む能力	71.2	68.4
	言語についての知識・理解・技能	72.7	67.2



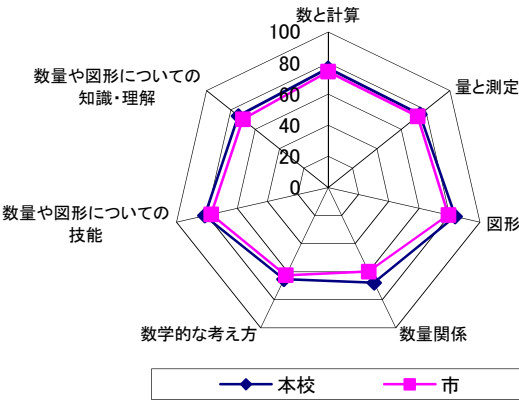
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・本校は56%と宇都宮市の正答率より7.2%も上回っている。話の中心に気をつけて聞くことは、よくできていたが、互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合おうすることをねらいとした問題については、市よりもやや上回った程度であった。	・メモを取りながら聞き取りをしたり、話し手が最も言いたいことを意識して聞くことができるようにしたい。そのためには、日常生活の中で一回で正確に聞き取ることができるよう、多くの機会を設定し、大事なことを落とさず聞く訓練をしていく。
漢字	・漢字の読みは、宇都宮市の正答率を1.7%上回っている。漢字の書きの方は、宇都宮市の正答率を8.4%も上回っている。	・朝の学習や国語の授業の中で、漢字の書き順や漢字練習を繰り返し行い、更に習熟を図る。既習の漢字は書く活動の中で、意識して使うように指導する。
言葉の学習	・本校は58.7%と市の正答率より4.9%上回っている。文の構成(連体修飾語)については正答率が低かった。	・国語の授業の中での漢字辞典の使い方の単元に時間をかけ丁寧に指導する。また、単元終了後も授業や朝の学習の中で、漢字辞典を引く機会を多く与えて、漢字辞典の使い方を習得させていく。
物語の内ようを読み取る	・本校は81.9%と市の正答率より3.2%上回っている。登場人物の気持ちを読み取ることは市と同程度であった。	・情景や様子、登場人物の気持ちを、叙述に即して読み取ることの大切さを、学習の中で指導する。 ・読書タイムや学校図書館利用の充実を図り、読書の楽しさを味わわせるとともに、質のよい読書を指導する。
せつ明文の内ようを読み取る	・本校は71.7%と市の正答率とほぼ同程度であったが、目的や必要に応じて、文章の内容を読み取ることは下回っている。	・説明的文章の中で、接続語などを手がかりにしながら、段落相互の関係を捉えて読み取ることの大切さを、丁寧に指導する。
ポスターと話し合いの内ようを読み取る	・本校は54.1%と市の正答率より7.8%上回っている。資料を目的に応じて読み、内容を的確にとらえることはよくできていたが、資料を読み取って、適切な言葉を使って文を書き直すことは、市とほぼ同程度であった。	・授業の中で資料を正確に読み取ったりや資料をもとに話し合ったりする場面をつくり、具体的に指導していきたい。
作文	・本校は87.1%と市の正答率より12%も上回っていた。特に、指定された長さで文章を書くことや2段落構成で文章を書くことがよくできていた。	・文章を書く機会を増やすとともに、作文指導のねらいを押さえた個別指導の徹底を図り、文章表現力を高めていく。段落構成にも気を付けさせて文章を書かせたい。

宇都宮市立緑が丘小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	76.7	74.5
	量と測定	75.4	73.5
	図形	83.7	79.2
	数量関係	67.9	59.9
観点別	数学的な考え方	65.4	62.5
	数量や図形についての技能	81.4	77.1
	数量や図形についての知識・理解	73.8	70.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・本校の平均正答率は76.7%で、市平均を2.2%上回っている。計算問題は市と比べても正答率が高かったが、文章問題の除法の立式や条件に合う場合を説明する問題、概数の範囲を問う問題の正答率がやや低かった。活用力・表現力がまだ不十分である。	・知識・理解、計算技能などの基礎基本は比較的に身に付いてきているので、授業やスキルの時間を活用し引き続き育てていきたい。四則の意味を再確認し正しく文章問題の立式ができるよう力を入れていくと同時に、授業での課題解決学習やグループでの学び合いなどを通して、表現力・活用力をさらに育てていきたい。
量と測定	・本校の平均正答率は75.4%で、市平均を1.9%上回っている。分度器の読み方や長方形の面積を計算する問題が市と比べ正答率が高かったが、角の大きさの見当や身近にあるものの面積を推察する問題の正答率がやや低かった。	・角の性質や面積を学ぶ際には、実際に測定したり体験したりする活動をもっと増やし、量に対する感覚をさらに磨いていきたい。また、目盛りの読み取りをまだ理解できていない児童も見られるので、算数のまとめの時間などを用いて、十分理解し活用していけるようにしたい。
図形	・本校の平均正答率は83.7%で、市平均を4.5%上回っている。二等辺三角形の作図問題が市と比べても正答率が高かったが、円の直径についての理解が市よりわずかに下回った。	・図形の基本的な知識を理解している児童は多いが、見通しを立てて考え、結論を導き出すことが苦手な児童が多い。授業での課題解決学習やグループでの学び合いなどを通して育てていきたい。
数量関係	・本校の平均正答率は67.9%で、市平均を8%上回っている。四則の混合した計算の順序を問う問題や折れ線グラフを読み取り、条件に該当する項目を見つける問題などは正答率が高かったが、きまりを活用する問題や二次元表を利用した問題の正答率は低かった。	・計算のきまりは覚えているが、式を見てきまりを活用する問題を苦手とする児童が多い。今後、まとめの時間などを用いて四則の意味を再確認し文章問題の立式のこつなどを徹底して指導していきたい。また、二次元表の読み取りは概ね理解できているので、活用できるようにしていきたい。